

授業概要

この授業では、シルクロードに誕生した中央アジアの国々の民主化と市場化への取り組み、日本の役割について講義する。市場経済への移行途上にある中央アジアへの関心は、資源問題・民族問題も相まって高いものがある。

中央アジアは、アジアの一部でありながら同じアジアの住民である日本人にとって馴染みが薄い地域である。新疆ウイグル自治区、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン国名（地名）と位置を正確に把握している日本人は多くないだろう。この地域について、身近に感じることができ、また興味を抱かせてくれる言葉がある。それが「シルクロード」である。

授業計画

第1回	イントロダクション・講義の概要、進行方法、評価方法
第2回	ソ連の解体とシルクロードに誕生した国々/歴史・地理・社会について講義する
第3回	移行戦略/初期条件と成果について講義する
第4回	産業の再編/工業の現状、民営化について講義する
第5回	農業発展/改革の現状と今後の課題について講義する
第6回	金融面の制度改革/銀行制度・外国為替並びに資本市場について講義する
第7回	地域協力とグローバリゼーション/貿易と輸送問題について講義する
第8回	もう一つの移行経済戦略/東アジアモデルについて講義する
第9回	カザフスタン/中央アジアの経済大国について講義する
第10回	キルギス/「中央アジアのスイス」について講義する
第11回	ウズベキスタン/シルクロードの二重内陸国について講義する
第12回	タジキスタン/「世界の屋根」について講義する
第13回	トルクメニスタン/「天然ガスの国」について講義する
第14回	新疆ウイグル自治区/「中国の資源宝庫」について講義する
第15回	中央アジアと日本/日本にとっての新たな開拓地について講義する
第16回	筆記試験

到達目標

受講者には、内陸国である中央アジア諸国が、先進国の日本と接触することが極めて重要であること、日本との経済関係が拡大していくことを知って貰いたい。

履修上の注意

この授業は、講義形式を中心とするが、受講者の主体的な参加を重視する。この授業で出る中央アジア地域の経済実態や課題について、質問や議論に積極的に取り組んでほしい。試験及びレポートの際に自筆のノートを参照するので、授業を欠席せずにノートをよくとってもらいたい。授業開始後 30 分以上の遅刻は、欠席扱いとする。

予習・復習

授業のレジュメを把握し、参考書の該当箇所と新聞・WEB サイトの中央アジア経済に関する記事をよく読むこと。配布した参考資料を読み、授業時に示す課題について回答レポートを作成すること。

評価方法

学期末試験 70%、授業内レポート 20%、受講態度 10%。

テキスト

最新の情報をもとに講義を進める。だから講義の中では特定の教科書は使用しない。毎回の講義では、随時良い文献などを紹介していく。